

第3期決算公告

2017年6月28日

東京都港区芝四丁目5番10号

株式会社筆まめ

代表取締役 望月 邦彦

貸借対照表（平成29年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	736,657,952	流動負債	317,648,185
現金及び預金	393,146,623	買掛金	26,931,974
売掛金	69,122,873	短期借入金	182,404,000
製品	12,507,230	未払金	34,370,611
未収入金	2,960,134	未払法人税等	8,503,000
前払費用	10,479,385	未払消費税等	33,966,629
短期貸付金	300,000,000	未払費用	5,882,898
立替金	73,333	前受金	3,033,504
繰延税金資産	△ 51,631,626	預り金	1,610,669
固定資産	439,942,784	賞与引当金	20,944,900
有形固定資産	9,082,987	返品調整引当金	0
建物	7,415,826	固定負債	536,090,681
工具器具備品	1,667,161	長期借入金	159,825,000
無形固定資産	321,457,173	長期前受金	371,046,960
のれん	135,884,752	資産除去債務	5,218,721
ソフトウェア	185,572,421	負債合計	853,738,866
投資その他の資産	109,402,624	（純資産の部）	
出資金	20,000	株主資本	322,861,870
長期前払費用	612,000	資本金	100,000,000
差入保証金	24,681,620	資本金剰余金	122,000,000
保険積立金	46,625	資本準備金	122,000,000
繰延税金資産（固定）	84,042,379	利益剰余金	100,861,870
資産合計	1,176,600,736	その他利益剰余金	100,861,870
		繰越利益剰余金	100,861,870
		純資産合計	322,861,870
		負債・資本合計	1,176,600,736

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

① 製品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 10～18年

工具器具備品 5～15年

② 無形固定資産

・のれん

その効果が発現すると見積られる期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

・ソフトウェアパッケージ開発原価

見積販売数量を基準として販売数量に応じた割合に基づく償却額と、販売可能期間（3年）に基づく償却額のいずれか多い金額をもって償却をしております。

・自社利用のソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対する賞与の支払に備えるため、支給見込額を計上しております。

② 返品調整引当金

事業年度末日後の返品による損失に備えるため、過去の返品実績を勘案し返品損失見込額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。